

# 報 告 事 項

- 1 . 入会、退会に関する規程
- 2 . 会員数・指導者数の推移
- 3 . 退会理由・クラブハウス利用状況
- 4 . アンケート結果
- 5 . ナガスポビジョン 2050（仮称）

# 1、長野総合スポーツクラブ 入会、退会に関する規程

(総則)

第1条 この規定は長野総合スポーツクラブ(以下「クラブ」という。)規約第7条の規定に基づき、クラブの会費及び入会、退会に関して必要な事項を定めるものとする。

(入会)

第2条 このクラブに入会しようとするものは、所定の入会申込書を提出しなければならない。

2 入会者(以下「会員」という。)に会員証を交付する。

(会費)

第3条 クラブの会費は別表のとおりとする。

2 年度途中に入会した会員の会費は入会した月からの額。

3 2人以上の家族が加入する場合、2人目から1人につき1,000円を割引する。

4 サークル会員、指導者、スタッフが加入する場合は、1,000円を割引する。

(会費の納入)

第4条 会費は次のとおり納入しなければならない。

(1) サークル会員の納入期限は、4月末日とする。

(2) スクール会員の年会費は、12回に分け自動送金にて納入する。

(3) 自動送金日は当月15日とする。

(4) スクール会員の保険・諸経費は入会申込み時に現金にて納入する。

2 一度納入した会費は一切返還しない。

(会員の事業参加)

第5条 会員はクラブが行うすべての活動に参加することができる。

(退会)

第6条 クラブを退会しようとする者は、所定の退会届を提出し、会員証を返却しなければならない。

附則1、この規定は平成16年3月6日施行する。

平成17年 3月 31日一部改正

平成19年 3月 31日一部改正

別表

バイキングスクール年会費

区分	年会費	保険・諸経費(年)
小・中	12,000円	1,000円
一般(16歳以上)	18,000円	2,000円

個別スクール

区分	年会費	保険・諸経費(年)
テニス ~	¥30,000	¥1,000
テニス ~	¥38,400	¥1,000(中学生) ¥2,000(一般)
テニス ~	¥42,000	¥2,000
キンダースポーツ	¥12,000	¥1,000

賛助会員

区分	1口
個人	5,000円以上
法人・団体等	10,000円以上

サークル年会費

区分	24人以下	25人~49人	50人~74人	75人~99人	100人以上
小・中	3,000円	6,000円	10,000円	15,000円	20,000円
一般	5,000円	10,000円	15,000円	20,000円	25,000円

ナガスポ会員数19年6月現在

	未就学児		小学生		中学生		高校生		~19才		~29才		~39才		~49才		~59才		~69才		70才以上		合計		指導者	うち有資格者	年間予算
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
バイキングスクール	0	6	90	116	5	4	1	1	0	0	1	3	0	23	2	23	0	22	5	26	2	7	106	231	36	19	
	6		206		9		2		0		4		23		25		22		31		9		337				
個別スクール	28	21	11	22	0	0	0	0	0	0	1	1	0	10	1	9	2	2	3	2	0	0	46	67	8	5	
	49		33		0		0		0		2		10		10		4		5		0		113				
スクール合計	28	27	101	138	5	4	1	1	0	0	2	4	0	33	3	32	2	24	8	28	2	7	152	298	44	24	
	55		239		9		2		0		6		33		35		26		36		9		450				
長野FC			106	12	73	8		2															179	22	21	9	
	0		118		81		2		0		0		0		0		0		0		0		201				
小山田サッカークラブ			80	4																			80	4	10	2	
	0		84		0		0		0		0		0		0		0		0		0		84				
河内長野インパルス			18	2																			18	2	2	2	
	0		20		0		0		0		0		0		0		0		0		0		20				
源流館		1	10	2	6	2																	16	5	2	2	
	1		12		8		0		0		0		0		0		0		0		0		21				
長野キックガールズ				20																			0	20	7	0	
	0		20		0		0		0		0		0		0		0		0		0		20				
長野レッドソックス											10			3		6		4		1			24	0	9	9	
	0		0		0		0		0		10		0		3		6		4		1		24				
武心会館	3		18	1																			21	1	1	1	
	3		19		0		0		0		0		0		0		0		0		0		22				
小山田クラブ											9		7		4		1						21	0	3	0	
	0		0		0		0		0		9		7		4		1		0		0		21				
サークル合計	3	1	232	41	79	10	0	2	0	0	19	0	7	0	7	0	7	0	4	0	1	0	359	54	55	25	
	4		273		89		2		0		19		7		7		7		4		1		413				
スクール・サークル合計	31	28	333	179	84	14	1	3	0	0	21	4	7	33	10	32	9	24	12	28	3	7	511	352	99	49	
	59		512		98		4		0		25		40		42		33		40		10		863				

### ナガスポクラブ会員数 (H16.9.1現在)

	未就学生		小学生		中学生		高校生～一般		男女別合計		総合計	指導者	うち有資格者
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
スクール会員	0	0	59	66	3	4	10	57	72	127	199	24	11
短期会員	30	12	0	0	0	0	0	0	30	12	42	6	6
サークル会員	0	1	237	68	62	14	57	0	356	83	439	59	7
合計	30	13	296	134	65	18	67	57	458	222	680	89	24

### ナガスポ会員数 (H17.9.24現在)

	未就学生		小学生		中学生		高校生～一般		男女別合計		総合計	指導者	うち有資格者
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
スクール会員	0	0	79	96	2	8	10	86	91	190	281	34	13
短期会員	20	7	8	23	4	0	6	11	38	41	79	6	4
サークル会員	1	0	246	54	60	4	24	0	331	58	389	50	16
合計	21	7	333	173	66	12	40	97	460	289	749	90	33

### ナガスポ会員数 (H18.6.27現在)

	未就学生		小学生		中学生		高校生～一般		男女別合計		総合計	指導者	うち有資格者
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
スクール会員	0	0	79	102	6	3	11	105	96	210	306	37	22
短期会員	23	13	17	20	0	0	1	13	41	46	87	8	4
サークル会員	0	0	231	41	75	4	24	0	330	45	375	52	24
合計	23	13	327	163	81	7	36	118	467	301	768	97	50

### ナガスポ会員数 (H18.10月末現在)

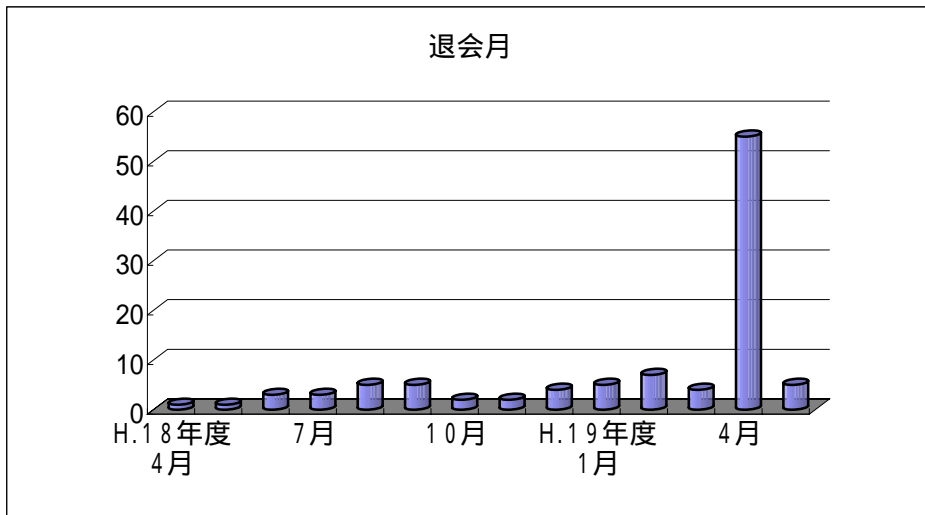
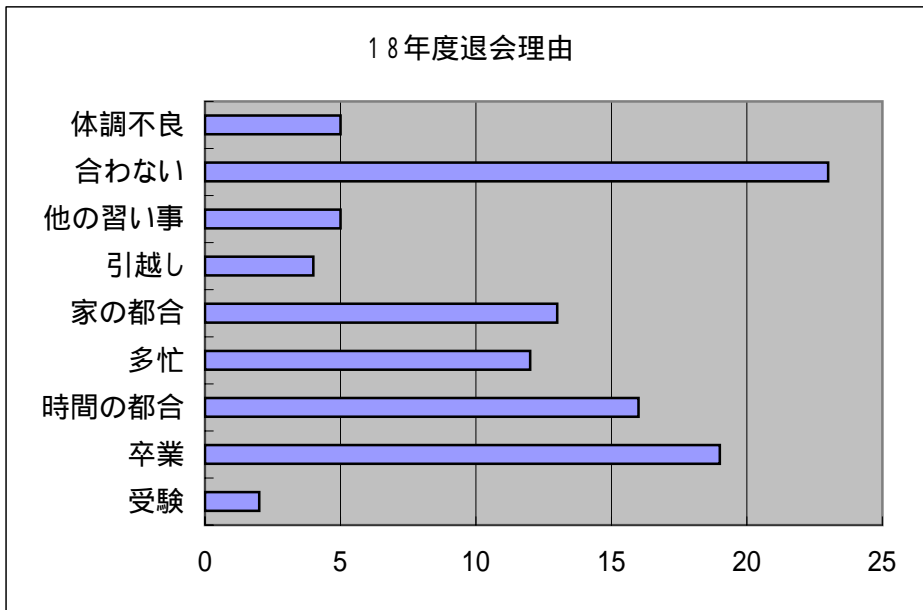
	未就学生		小学生		中学生		高校生～一般		男女別合計		総合計	指導者	うち有資格者
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
スクール会員	0	0	84	114	6	3	11	102	101	219	320	37	22
短期会員	24	11	25	23	0	0	7	27	56	61	117	8	4
サークル会員	0	1	261	42	71	6	24	2	356	51	407	52	24
合計	24	12	370	179	77	9	42	131	513	331	844	97	50

### ナガスポ会員数 (H19.6月末現在)

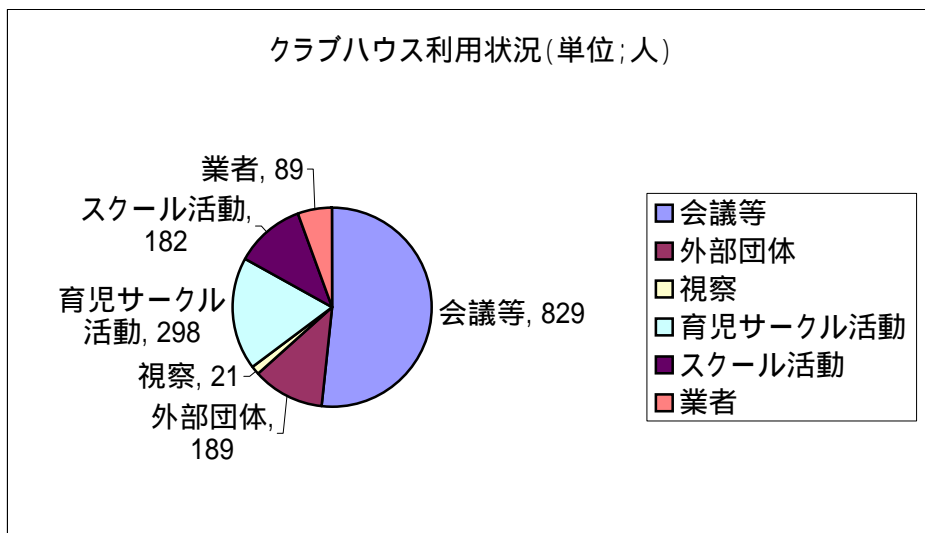
	未就学生		小学生		中学生		高校生～一般		男女別合計		総合計	指導者	うち有資格者
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
バイキングスクール会員	0	6	90	116	5	4	11	105	106	231	337	36	19
個別スクール会員	28	21	11	22	0	0	7	24	46	67	113	8	5
サークル会員	3	1	232	41	79	10	45	2	359	54	413	52	25
合計	24	28	333	179	84	14	63	131	511	352	863	96	49

長野小学校区15654人 小山田小学校区9330人 合計24984人

### 3. 退会理由



### クラブハウス利用状況



# アンケート結果

調査時期：平成 19 年 2 月

調査対象：会員及び会員保護者

回答者数：191 人

## < 摘 要 >

平成 17 年度から、会費の改定や郵便局引落とし化が導入された。前回と今回の調査結果の比較から、会費の増額は一部の会員に反感を生じさせたようだが、定着後は「安い・適切だ」と思える人が増えており、会員の理解を得られているものと考えられる。また郵便局引落とし化については、当初新しい会費の支払い方法を導入することで手続きの面倒さ・個人情報についての不安などから反発が見られたが、定着後は「(たいへん)よい」と感じている人は倍増していたため、こちらも会員の理解を得られていると考えられる。長野総合スポーツクラブ全体に対する満足度についてはやや増加傾向にあり、前回と同様高い満足度が得られている。

## < 概要・考察 >

回答者は 191 人で、平成 18 年度会員数 384 人中の約 50% だった。

回答者のうち 56% が女性保護者、44% が本人だった。男性保護者による回答は無かった(図「回答者の内訳」より)。

回答者の世代別では小学生が 56% と最も多く、次に成人(35%)、未就学児(8%)と多かった。中学生は 1 人のみで、高校生の回答は無かった(図「回答者の世代別分類」より)。18 年度の会員中でも中学生は 9 人、高校生は 0 人と、非常に少ないためだと考えられる。

回答者の男女比では、男 38%・女 62% であり女性のほうが多かった(図「回答者の男女比」より)。平成 18 年度の会員中の男女比は男 35%・女 64% であり、ほぼ全体を反映していると考えられる。回答者のうち本クラブ以外でのスポーツ活動をしている人は 44% であり、本クラブのみでスポーツ活動をしている人が半数以上である(図「本クラブ以外でのスポーツ活動」より)。

回答者の所属スクールではのべ回答人数 251 人中キッズスポーツが 40 人と最も多く、次にヨガ(31 人)、テニス(27 人)、トータルスポーツ(27 人)、太極拳(26 人)と多かった(図「回答者の所属スクール」より)。

回答者 178 人のうち、一週間に 1 回スポーツを実施するという人が最も多かった(図「一週間あたりのスポーツ実施回数」より)。一週間のうち 1~3 回スポーツをする人で約 9 割を占めていた。入会した理由で最も多かったのは「健康体力向上のため」であり、身体的能力の向上に関心が高く、それを目的に入会した会員が多かったと思われる(図 Q 1 より)。次に多かった「会費が他に比べて安い」・「自宅から近い」という理由から、本クラブの特長に魅力を感じて入会した会員も多かったと言える。

今年度から会費が改定された(増額)事に対して、平成 17 年度アンケートでは「まだ十分安い」・「安い」が 17%、「やや高い」・「高い」が 21% と、増額に対する反発と見られる結果が現れていた(図 Q 2 より)。しかし平成 18 年度アンケートでは、前年に比べ「まだ十分に安い」・「安い」が 45% と大幅に増大し、また「やや高い」・「高い」が 6% と大幅な減少を示した。突然の大幅な会費増額に対して過敏な反発が生じたが、定着した後はまだ「安い」・「適切」と考えうる範囲である事が分かった。しかし「高い」と感じている会員もあり、それは経済的にというよりは内容に対する評価だという意見が出ていた。

会費の「郵便局引き落とし」について、この方法で「大変よい」・「よい」と感じている人は、平成 17 年度で 42%、平成 18 年度で 80%と、前年に比べ倍増した（図 Q 3 より）。「よくない」とはっきり感じている人がゼロになっている事も含め、初めの手続きが面倒であることや、個人情報に対する警戒から反発を感じたものの、毎月の支払いが楽になった便利さなどから高評価している結果と考えられる。

スポーツバイクシステムについては、「たいへんよい」・「よい」および「どちらとも言えない」の割合ともに大きな変化は見られなかった（図 Q 4 より）。平成 18 年度で「たいへんよい」・「よい」が若干増加しているが、平均的に 7 割強～8 割弱の会員に高評価が得られるシステムだと考えられる。「どちらかと言うとよくない」・「よくない」の人数が前年度に比べ減少していたため、バイクシステムへの評価は上がったと言える。またこの事は、システム自体が前年に比べ変化したのでは無いため、スクールの充実に対してバイクシステムへの評価が比例した結果ではないかと考えられる。

本クラブの活動による効果として実感していることで、「友人ができた」ことが最も多かった（図 Q 5 より）。次いで「体力がついた」・「生活が向上した」ことが多かった。健康体力のために入会したという人が最も多かったが（図 Q 1 より）、実際の活動で最も得たものは友人であり、生活の充実を得た実感が大きいと考えられる。

本クラブ全体に対する満足度では、「たいへん満足」・「満足」・「やや満足」の割合は平成 17 年度で 96%、平成 18 年度で 99%と非常に多くの会員が満足していることが分かった。「たいへん満足」・「満足」だけの割合では 76%（平成 17 年度）から 84%（平成 18 年度）にやや増加し、「やや不満」は減少を示した。全体として満足度は増加したと言える。

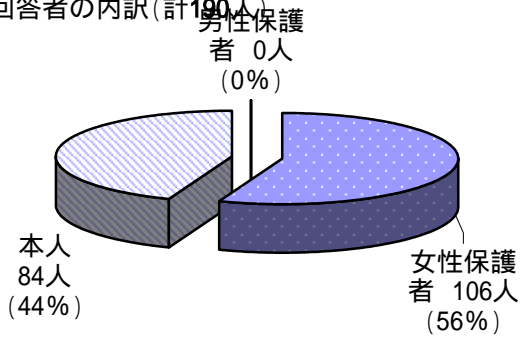
会員が感じていることを分かりやすく数値で表しフィードバックする目的で、平成 18 年度から各参加スクールに対する満足度をアンケートに取り入れた（図 Q 7 より）。「かなり満足」を 5 点とする 5 段階評価で、点数が低いほどそのスクールに対する満足度は低いものとする。その結果、スクール全体の平均は 4.2 点と満足度は高かった。各スクールで 3.3 点～5.0 点までの開きが見られたが、回答者数にかなりのバラつきがあったため、スクール同士の比較には適さない。また点数が低い理由にも多々あったため、詳しくは「不満な点・改善して欲しい点」として文章化してもらった。そこで分かったことは、「試合数を増やして欲しい」・「もっと時間を増やして欲しい（回数も増やして欲しい）」など前向きな不満点が多く、会員の積極的な姿勢からこのような点数がついたと考えられる。

回答者のうち 54%が本クラブ主催のイベントに参加した（図 Q 9 より）。昨年度のイベントに対しての評価は高く、是非今後も継続して欲しいという声が多かった。

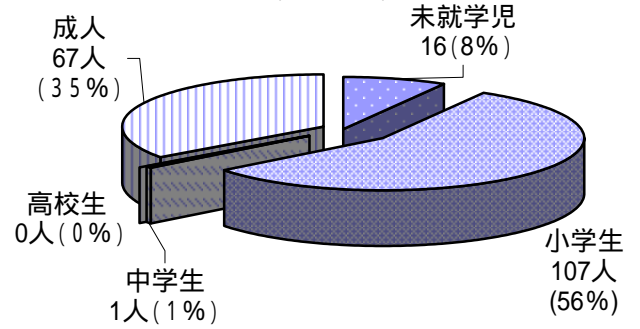
クラブの情報を得る手段として最も活用しているのは、「クラブハウス便り」だった（図 Q 11 より）。次いで「クラブ通信」であり、インターネット媒体の情報手段を活用する機会は、紙媒体を活用する機会より極めて少なかった。これは、インターネットを最も使うと考えられる 10 代・20 代以外の会員が大半を占めており、使用するとしても低頻度であり本クラブのホームページにアクセスしない傾向があるためであると考えられる（平成 17 年度の結果も参照）。

携帯電話におけるスクール掲示板及び書き込み通知お知らせメールシステムについては 32%の回答者が存在を全く知らず、知っていても活用していない回答者は 35%だった（図 Q 12 より）。全体としては、約 70%の人がメールシステムを活用できていない事になる。お知らせ掲示板を見ている回答者は 24%、書き込み通知お知らせメールシステムを活用している回答者は 8%だった。知っていても使っていない回答者が多い理由は、Q 11 でも分かるようにインターネット媒体に抵抗感がある会員が多いためと考えられる。

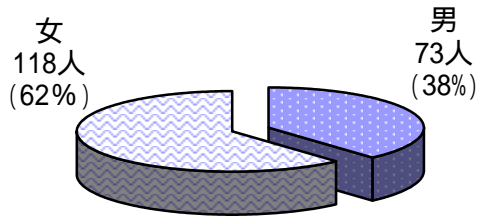
回答者の内訳(計190人)



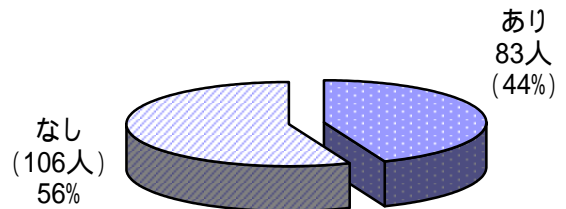
回答者の世代別分類(計191人)



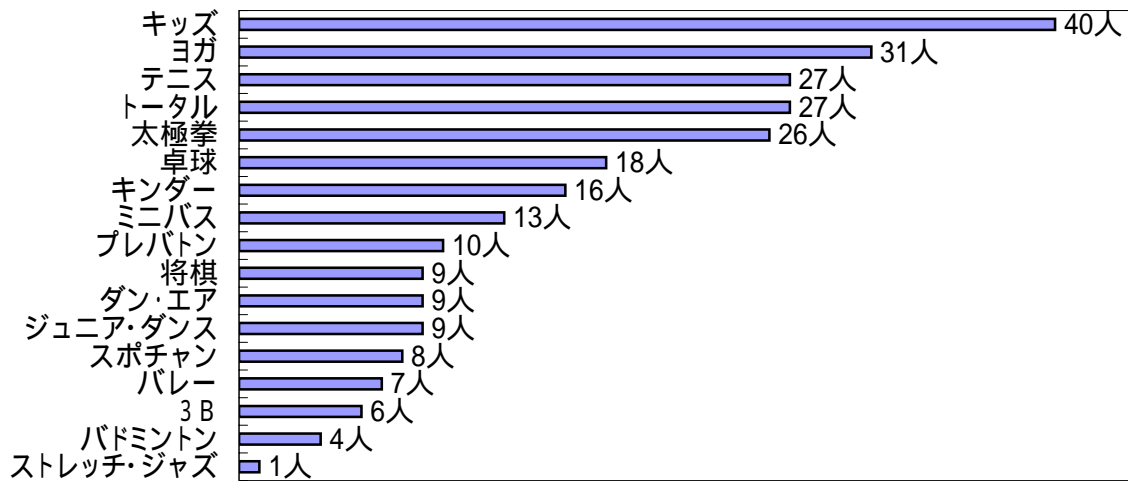
回答者の男女比(計191人)



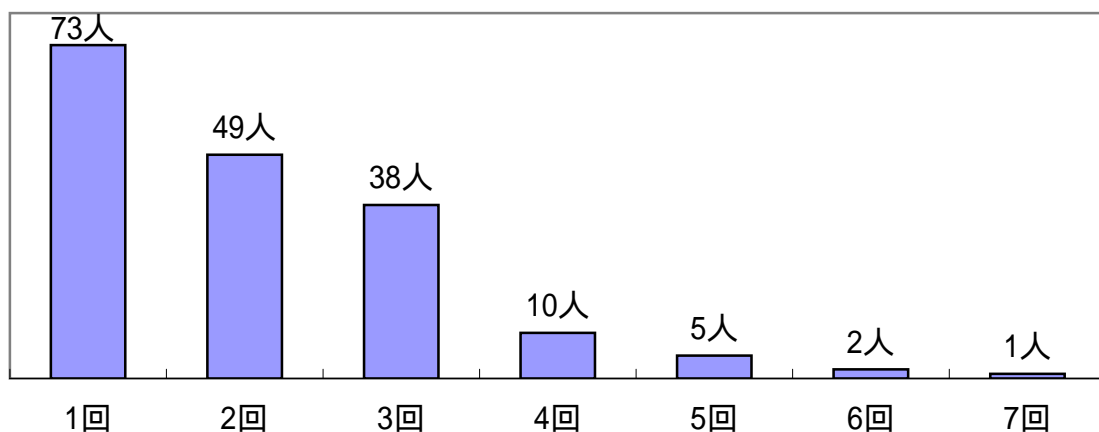
本クラブ以外でのスポーツ活動(計189人)



回答者の所属スクール(複数回答:のべ251人)

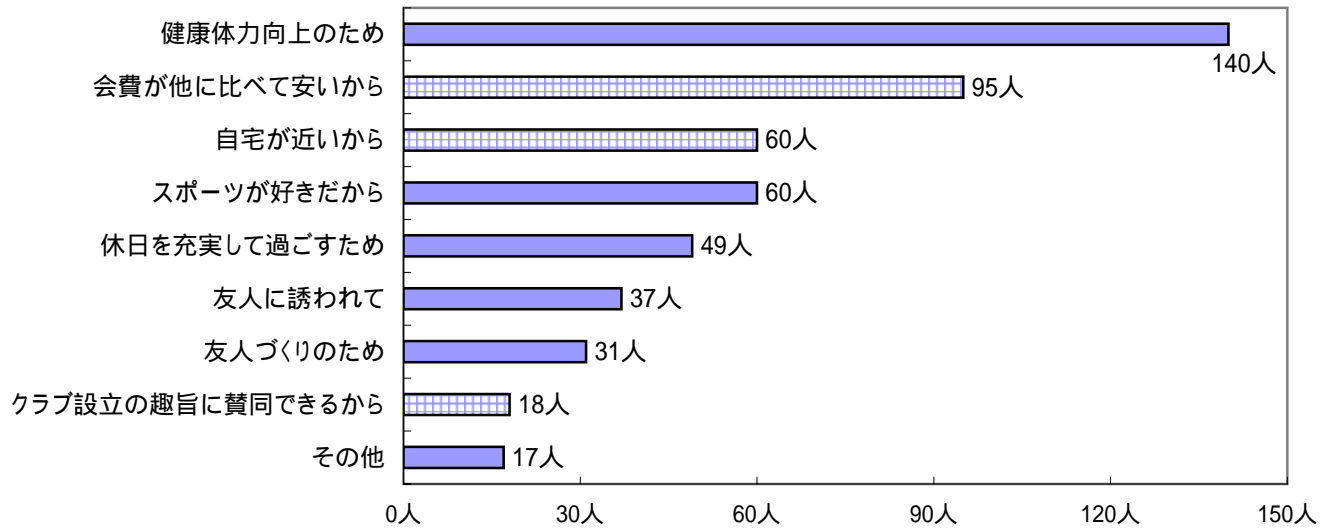


回答者の一週間あたりのスポーツ実施回数(回/週、計178人)

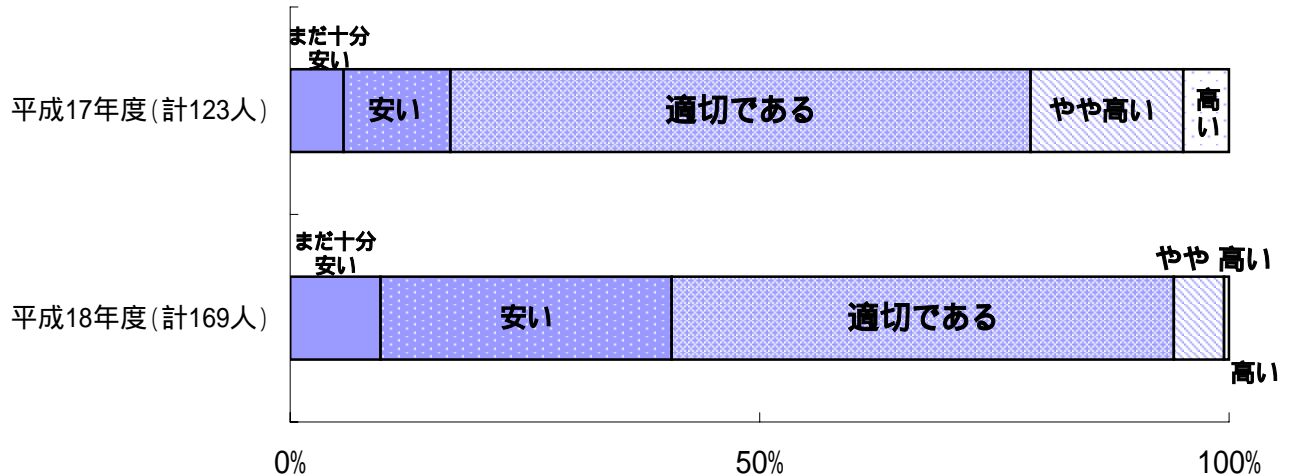




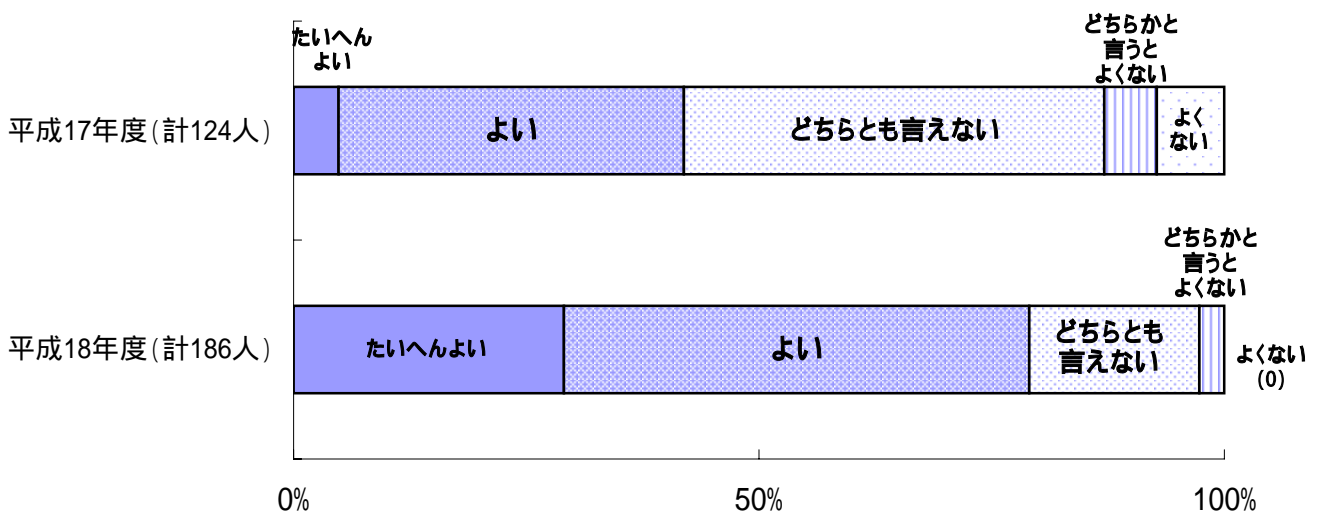
Q1. 入会した理由は何ですか？ (複数回答: のべ507人)



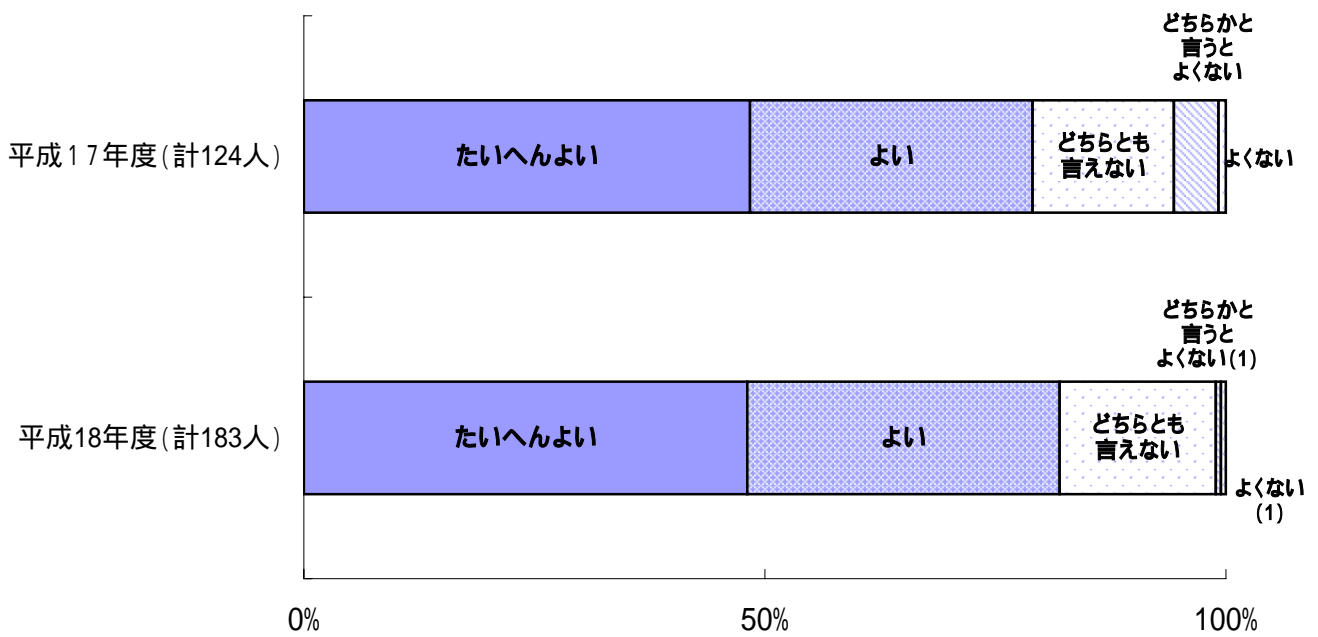
Q2. 会費の改定についてどう思いますか？



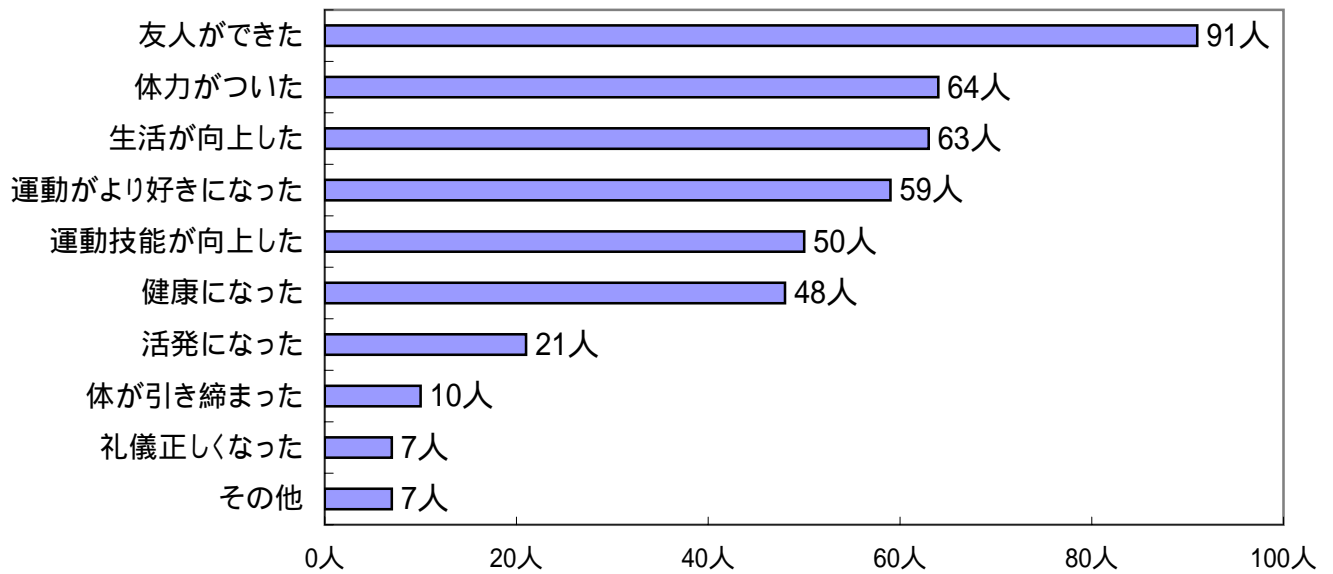
Q3. 会費の「郵便局引落とし」について、どう思いますか？



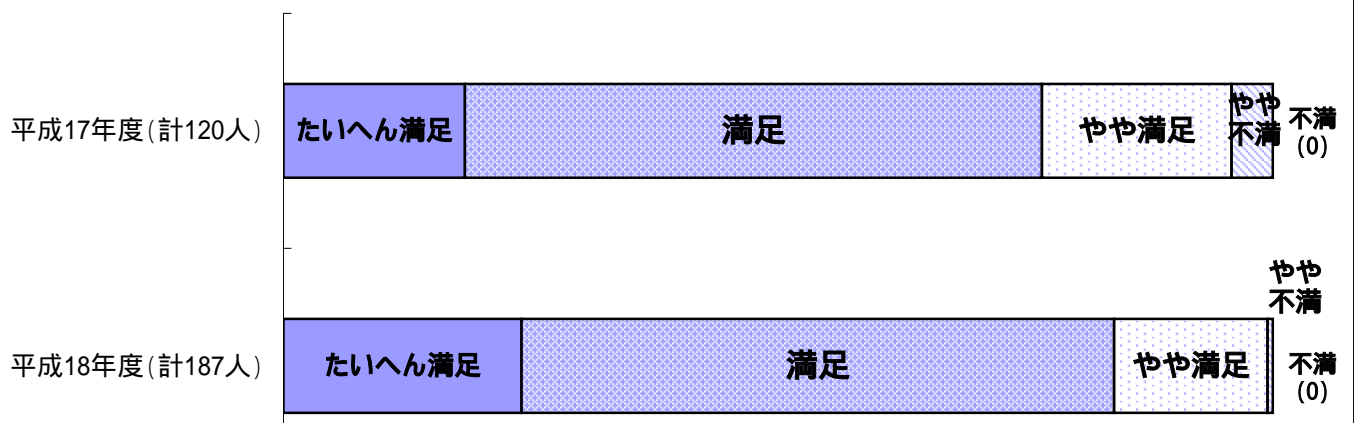
Q4. スポーツバイクシステムについて、どう思いますか？



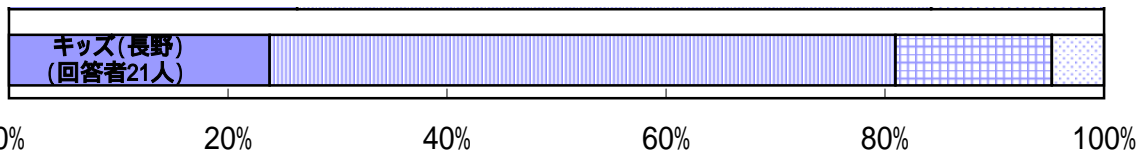
Q5. 長野総合スポーツクラブ活動している効果として、どの様なことが実感できますか？(複数回答:のべ420人)



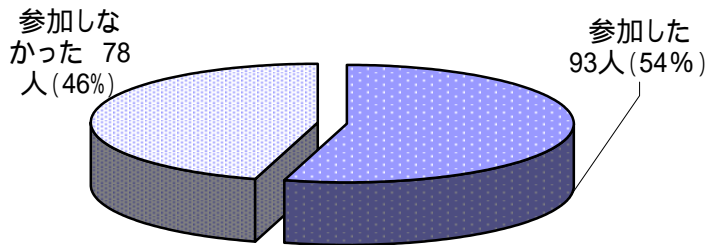
Q6. あなたの「長野総合スポーツクラブ」全体に対する満足度は？



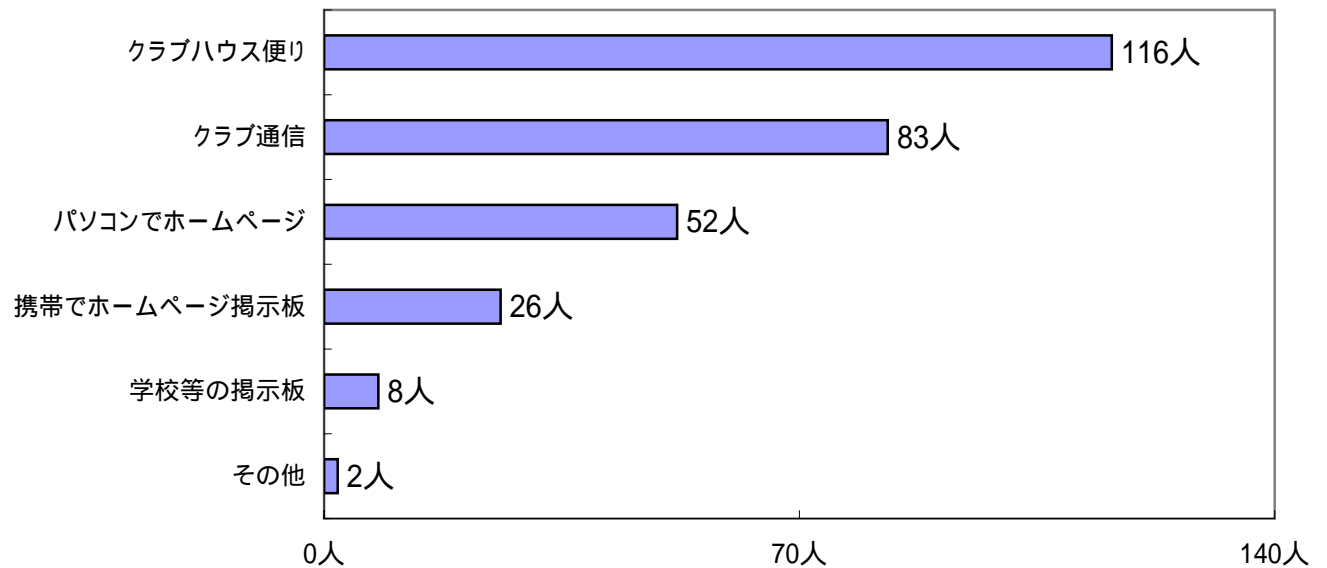




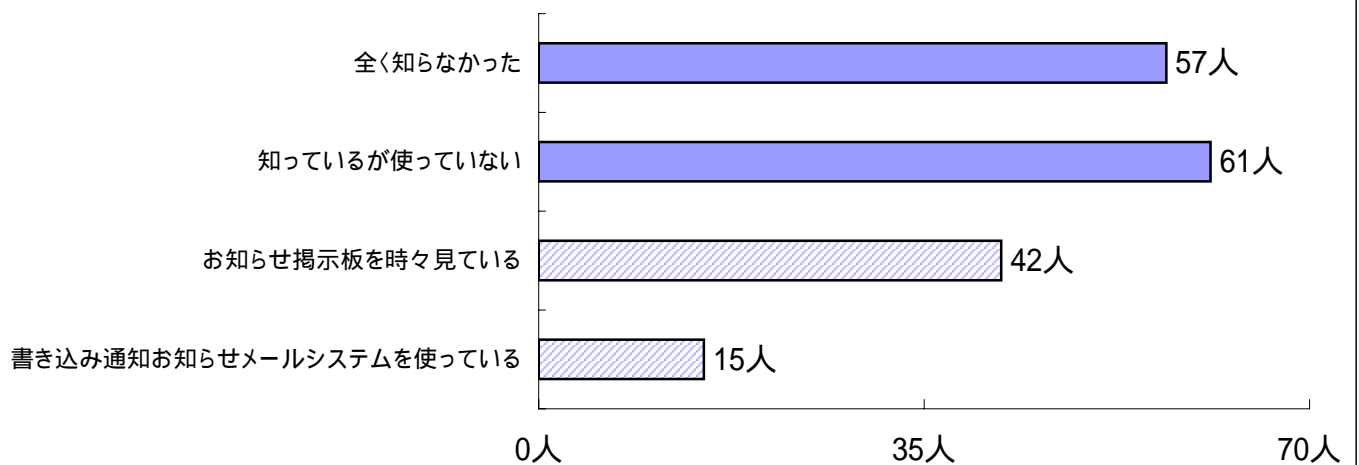
Q9. 昨年度行われたイベントには何か参加しましたか？ (計171人)



Q11. クラブの情報を得る手段として、よく活用するのは？ (複数回答: のべ287人)



Q12. 携帯におけるスクール掲示板を活用していますか？ (回答者175人)



#### Q7. 各スクールについて、不満な点・改善して欲しい点.

- ・**将棋**: ルールをもう少し教えてほしい / 後半はだれてしまっていると聞いたので、休憩時間を設けてどうか.
- ・**ミニバスケット**: うまくて楽しめる子と、実力がついていけなくて楽しめない子がいるようだ
- ・**テニス**: 時間が短い / コートの補修をお願いしたい / トイレに困ることがある / 休んだ時に他の曜日・会場に振り分けられるようにしてほしい.
- ・**太極拳**: 冬の会場が寒い / 床が時々汚い / 卓球の時間と重なるとコーチの声が聞こえにくい.
- ・**ヨガ**: 冬の会場が寒い / 床が時々汚いのでモップ等があれば良いと思う.
- ・**スポチャン**: もう少し時間を長くしてほしい / もう少し厳しくしてもらっても良いかも.
- ・**バドミントン**: 試合をもっと増やしてほしい / スクールの回数が少ないと物足りない.
- ・**キッズ**: 長野組と小山田組の交流戦などもしてみたい / やることを年齢で分けるのではなく、出来る出来ないでわけてはどうかと思う / もう少し子供の様子を見てほしい / 体育が苦手と感じているようなので、休みの日だから体育の授業っぽい雰囲気にはしないでほしい / 鉄棒種目をもう少し増やしてほしい / スポーツが得意な子には内容が物足りない.
- ・**キンダー**: もう少し早くに始めてほしい / 跳び箱やフラフープをもっとやりたい.
- ・**その他** 会場の都合でお休みが多いように思う / コーチの名前が分からないので、名札を付けるとかしてほしい.

#### Q8. リクエストしたいプログラム.

- ・**運動系** 新体操, サッカー, 合気道, 空手, バレエ, 野球, 体操, トランポリン, 縄跳び, パターゴルフ, フラダンス, ソフトボール, 水泳, バランスボール, グランドゴルフ, ジャズダンス, バトン, ソフトバレー
- ・**文化系** 絵画, 書道, ステンシル, 編み物, そろばん, クッキング, 着付け, 陶芸, 詩吟, 英会話, 和太鼓, カラオケ, 華道

#### Q10. どのような交流事業や研修事業があれば参加したいですか?

キャンプ, スキー, ハイキング, 他のテニススクールとの交流戦, 交流戦, スケート, 水泳, 春から夏にかけて少ないので何か学習できるものが欲しい, 日帰りバーベキュー, トレッキング講習会 現在行われている講習会を継続してほしい, ウォークラリー, 腰痛予防講習会, コーチと触れ合いが持てるイベント, 身体に関する講習会(スポーツに向く食事, 栄養, マッサージやクールダウン法), 普段はあまり接することの少ないスポーツなど, バドミントンの試合, スポーツ観戦, 自然観察会, ボランティアで掃除, ミニ運動会(綱引き, 玉入れ, 大玉ころがし, リレー), ドッジボール, 低学年でも参加できる近場のキャンプ

## その他、自由意見

- ・クラブには本当に感謝している。子ども達がいつも楽しそうで、入会させて本当に良かったと思っている。これからもお世話になります。
- ・バイキングの趣旨は概ね賛同しますが、受益者負担という意味から、3種目以上くらいから割り増しがあっても良いのでは。クラブ維持のためにも。
- ・安い値段で月に4回も参加させてもらっていて、感謝し素晴らしいと思っている。これからもよろしく願います。
- ・いつも楽しく参加させて頂いています。スタッフ・コーチの方々に感謝しています。有難うございます。
- ・高齢のため、イベント等の参加や手伝いが少しきついかと思われる
- ・仲間づくりができて楽しい
- ・コーチのことが好きと子供が言っている。さらなるクラブの発展を願っています。
- ・低料金、コーチの指導に感謝。ますますの発展を願う。
- ・始めは知らず、友人から当クラブを知った。幼稚園でももう少しチラシ配りをして欲しい。子供の運動音痴が治っていくのを感じる。子供の内面まで見ていてくれていると感じる。
- ・毎週のスポーツのみならず、色々なイベントの企画にも感謝している。コーチ・スタッフに本当に感謝している。
- ・コーチの方が、ボランティアなのに熱心に子供にも関わってくれるのには頭が下がります。
- ・高学年になると参加しにくくなるが、バイキングシステムかつ低料金なため対応しやすい。とてもありがたく思っている。
- ・運動を地域の学校ででき、低料金であることに有り難く思っている。
- ・キンダーの内容は質が高く、子供の成長に合わせてくれていると感じる。
- ・子供はスポーツが苦手で楽しくないと感じてるようですが、いつかは「今日は楽しかった」と言って帰ってくることを期待しています。
- ・運営にご尽力いただいて有り難く思っている。友人もできて楽しい。これからもよろしく願います。
- ・石仏ではこのような活動を知るヒトが少ないので、もっと告知すれば集まると思う。
- ・参加していて、とても充実している。
- ・平日に野球ができるスクールが欲しい。
- ・内容に比べ会費が高く感じる。週6日利用で月6,000円からのクラブはたくさんある。公共施設・ボランティア活用なら、もっと安く運営すべきでは。
- ・会社勤めには、今の事務局が開いている時間では訪問できにくい。
- ・泊りがけの講習会は、価格が高くて良いので、ゆったりしたバスでの移動をお願いしたい。
- ・質問;参加できない月は休会扱いできないか?退会時は何ヶ月前までに連絡か?5週目のレッスンはあるのか?雨天時の振り替えはどうか?
- ・夏休みは休会したい。
- ・ダンスエアロをやっていて、連絡事項が詳細に行き渡っていない時が多々あって困る。
- ・スポーツフェスタで、午前中のゲームの時間が短かったため、もっとやりたかった。
- ・片付けや準備などお手伝いできることがあれば、ぜひ参加したい。

会費収入等の推移(H16~H18)

単位:円

項 目		H16決算額	H17決算額	H18決算額
会費収入	スクール	2,055,600	3,290,700	6,945,200 ※会費値上げ
	短期教室			
	サークル			
	賛助会員			
事業収入		262,000	1,057,000	1,249,800
補助金		850,000	2,750,000	3,950,000
寄付・協賛金		198,392	49,996	32,000
雑収入		246,546	144,556	163,672
前年度繰越			551,520	747,956
合 計		3,612,538	7,843,772	13,088,628

スクール・短期教室数	12種目20クラス	14種目26クラス	18種目34クラス
スクール・短期会員数 (全体)	241人(860人)	360人(749人)	437人(844人)
自主財源(会費)の割合	77% (57%)	65% (41%)	70% (53%)

<長野総合スポーツクラブのこれから>

■ 短期的目標  
(設立~10年)

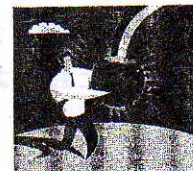


会員数 : 1,500人(校区人口の6.5%)  
 予算規模: 3,000万円  
 組 織: NPO法人化、専任スタッフ1~2名  
 事業内容: 収益事業(平日スクール、物販等)、チャリティー等

■ 中期的目標  
(10~20年)



会員数 : 2,500人(校区人口の10%)  
 予算規模: 6,000万円  
 組 織: 専任スタッフ3~5名  
 事業内容: 委託事業、国際交流等



■ 長期的目標 「NAGASPOビジョン2050(仮称・案)」

- ☆ 地域の誰もが誇りに思うクラブへ(会員数1万人)
- ☆ 芝生ピッチと自前のクラブハウスの整備
- ☆ 世界で活躍するアスリートの輩出
- ☆ シンボルチーム(国内トップクラス)の育成



地域の誰もが気軽にスポーツ  
 親しみ、健康で明るく元気な街  
 づくりに寄与するとともに、真の  
 スポーツ文化の定着を目指す!

# 「スポーツ振興基本計画」の見直しのポイント

【趣旨】10年計画(平成13年度～)の前半5年間の進捗状況等を踏まえ、計画の後半5年間分として改定

## 政策目標

1. 子どもの体力の低下傾向に歯止めをかけ、上昇傾向に転ずることを目指す←(新規)
2. 成人の週1回以上のスポーツ実施率 50% (34.7%(H9) → 38.5%(H16))
3. オリンピックでのメダル獲得率 3.5% (アトランタ リレバンメル 1.85%(H8) → アテネ トリノ 3.22%(H18))

## 政策目標達成に向けた視点と施策

⇒ 以下の施策の新規・拡充。

### 子どもの体力の向上

- 子どもの体力の状況を都道府県別に公表すること等を通じ学校における指導の改善を図るなど、国民全体が子どもの体力の重要性を認識するための「国民運動」を展開
- 学校が「教育活動全体を通じて体力向上」を図るとともに、子どもが体を動かす場の確保や、指導者の充実のため、「学校と地域の一層の連携」を推進



### 生涯スポーツ社会の実現

- 「総合型地域スポーツクラブ」の全国展開に向けて、質・量ともに一層の充実を支援
- 「スポーツ指導者の養成・確保・活用」について、指針を策定するとともに、スポーツリーダーバンク等の一層の活用や、地域における関係者の話し合いの場を確保



### 国際競技力の向上

- 「ナショナルトレーニングセンター」について、「中核拠点施設」を平成19年中に整備するとともに、「競技別強化拠点」を早期に指定・支援
- 「企業や地域のスポーツ支援の在り方」の検討や「トップレベル競技者のセカンドキャリア支援」の充実
- 「アンチ・ドーピング」について、条約の早期締結や体制及び活動の在り方を検討

